



“おたがいさん”の助け合い・支え合いが広がるまちへ

『助け合い・支え合いフォーラム』

～コロナ禍だからこそ 伝えたい～

レポート
R3.1.24

彦根市内には、高齢者サロンや子ども食堂、見守り訪問など、“おたがいさん”の見守り合い活動がたくさんあります。『できる人が・できることを・できる範囲で』ちょっと手助けし合うことによって、安心して暮らせる地域づくりを实践されています。最近では、買い物や通院の送迎、草刈り、雪かきなど、住民同士が支え合う活動も増えてきました。

しかし、地域のつながりの希薄化、家族単位の縮小、ご近所つきあいが少なくなるなど、暮らしの変化に伴い、「助けて」と言えない、おたがいさんで助け合うことが難しい状況も増えています。

誰かの助けをちょっと借りれば解決できる“困りごと”を放っておかず、地域みんなで取り組む「助け合い・支え合い」が広がっていくように。フォーラムを通して、たくさんの気づきや次への一歩につながるヒントを得ることができました！！

実践報告者からの一言

「顔の見える、新しいささえあい」 生活協同組合コープしが

『生活協同組合コープしが』は、ささえあい活動として困りごとを聞いて、実践してきました。活動を通じて顔と地域が見え、身近な活動になり、やりがい生まれるなど社会参加の一歩が踏み出せたと思っています。



「暮らしのちょっとお手伝い」 たすけあい鳥居本

『たすけあい鳥居本』は、「地域で生じる困りごとを自分たちで対応、解決していきたい！」との思いから立ち上がりました。「みんなで住民が“大”活躍できる地域を作りたい」を合言葉に、ちょっとしたお手伝いを大きな輪のつながりに広げたいと思っています。

